

教科名	歯科学統合演習VI a
責任者名	黒川 弘康
学期	前期
対象学年	6学年
授業形式等	演習

#### ◆担当教員

各講座の学習指導委員が担当する。

黒川 弘康 (歯科保存学 I 准教授)
高橋 富久 (解剖学 I 教授)
山崎 洋介 (解剖学 II 准教授)
近藤 真啓 (法医学 専任講師)
津田 啓方 (生化学 准教授)
藤田 智史 (薬理学 准教授)
神尾 宜昌 (細菌学 准教授)
浅野 正岳 (病理学 教授)
尾曲 大輔 (病理学 助教)
関野 麗子 (歯科麻酔学 助教)
松本 邦史 (歯科放射線学 助教)
雨宮 俊彦 (歯科放射線学 助教)
篠塚 啓二 (口腔外科学 助教)
白土 博司 (口腔外科学 助教)
岡田 明子 (口腔診断学 准教授)
武井 浩樹 (小児歯科学 助教)
堤 博文 (法医学 専任講師)
上原 任 (医療人間科学 専任講師)
中井 久美子 (衛生学 助教)
稲葉 瑞樹 (歯科矯正学 助教)
鈴木 里奈 (歯科矯正学 兼任講師)
米山 隆之 (歯科理工学 教授)
小峰 太 (歯科補綴学 III 准教授)
大山 哲生 (歯科補綴学 II 専任講師)
伊藤 智加 (歯科補綴学 I 専任講師)
浦田 健太郎 (歯科補綴学 I 助教)
蓮池 聡 (歯科保存学 III 助教)
羽鳥 啓介 (歯科保存学 II 助教)
佐藤 光保 (摂食機能療法学 助教)
鈴木 直人 (生化学 教授)

#### ◆一般目標 (GIO)

過去に出題された歯科医師国家試験の必修および一般問題に対する理解を深めることによって学力の一層の向上を図り、歯科医師国家試験に対応するための基礎的知識を修得する。

#### ◆到達目標 (SBOs)

- ① 歯科基礎医学の知識を使用できる。
- ② 歯科臨床医学の知識を使用できる。
- ③ 社会歯科医学の知識を使用できる。

## ◆評価方法

統合試験Ⅵaの合格基準を統合試験Ⅵa①～⑤の総合で得点率が67%以上とする（成績評価表示とする）。  
なお、統合試験Ⅵaの成績が合格基準に達しなかった場合、本人からの申し出があれば、統合試験Ⅵa判定保留による期限付きでの歯科学統合演習Ⅵbの受講を認める。ただし、統合試験Ⅵb①及び②の総合で得点率が67%以上に達しなかった場合、歯科学統合演習Ⅵaの履修が未完了となり、卒業見込証明書交付判定をもって、当該学年の原級が確定する。  
上記における合格基準の得点率は、小数点以下を切り捨てた値（第1位を四捨五入しない）で判定する。

統合試験Ⅵa①、②、③、④、⑤は、それぞれ4月1日、5月7日、5月20日、6月10日および7月8日の月曜日（5月7日のみ火曜日）の9:00から実施する。試験開始10分前には試験場で待機すること。  
再試験および追試験は行わないため、欠席することのないよう日頃から体調管理を心掛けること。  
なお、統合試験Ⅵa②～⑤は、指定された日時で該当する科目の試験問題について解説を行う。

欠席を認めない。各範囲（統合試験Ⅵa②～⑤に対応する演習・講義）で欠席が4コマ以上の場合、該当する統合試験Ⅵaの受験を停止する。  
1限および4限の演習・講義の出欠確認は、授業開始10分前（8:50あるいは12:50）から、所定用紙への学生自身の記名によって行う。なお、授業開始5分後（9:05あるいは13:05）までは対応するが、これ以降は欠席扱いとする。  
2限、3限、5限、6限および7限の演習・講義の出欠確認は、授業開始5分後までに座席表にもとづき行う。この時点で不在の場合、欠席扱いとする。  
欠席、公欠、忌引等の場合、登校後速やかに（欠席予定の場合は事前に）教科担当責任者まで欠席届等を提出すること。なお、学習指導委員会で欠席届を確認し、正当かつやむを得ない理由によるものと判断された場合のみ、欠席を解除することがある。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	備考
黒川 弘康	金曜日 17:00～18:00 歯科保存学第1講座 研究室	各講座の学習指導委員が担当する。教員が多数のため、オフィスアワーは教科担当責任者のみ記載してある。必要に応じて各担当教員とアポイントを取り、学修効果の向上に努めること。

## ◆授業の方法

学習指導委員による講義および講義内容に関連する歯科医師国家試験の必修・一般問題での演習、解説で構成されている。  
学習指導委員はスライド等を用いて講義を行う。また、講義内容を補完するためにプリントを配布する。講義および復習を通じてプリントを整備し、知識の習熟を図ること。  
必修・一般問題での演習により、講義で得た知識をどのように活用するかを知るとともに、解説を受けることで知識の習熟を図ること。  
講義および演習に関する質問は授業時に随時受け付けるが、オフィスアワーも有効活用すること。  
授業は関連する科目ごとに配置している（領域別に編成）。各科目の授業内容の繋がりを考え、系統立てて学修すること。

【実務経験】学習指導委員：臨床系科目教員においては、在職している日本大学歯学部付属歯科病院診療科での経験および各講座において担当している授業経験を、基礎系科目教員においては、各講座において担当している授業経験および研究等で得られた知見を踏まえながら、歯科医師国家試験の必修、一般問題に対応可能な基礎的知識を習得する場を提供したいと考えている。（歯科学統合演習Ⅵa）

## ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	指定しない。			
教材冊子1	秘伝の薬理	藤田智史, 他	日本大学歯学部薬理学講座	2019
教材冊子2	秘伝の薬理 -問題集-	藤田智史, 他	日本大学歯学部薬理学講座	2019
教材冊子3	歯科国試パーフェクトマスター-歯科矯正学	清水典佳, 鈴木里奈	医歯薬出版株式会社	2016
参考書1	平成30年版歯科医師国家試験出題基準（厚生労働省監修）			
参考書2	最新版歯科医師国家試験問題集		指定しない。	2019
プリント配付				

## ◆DP・CP

DP1  
コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観  
コンピテンシー：医の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。  
DP2  
コンピテンス：世界の現状を理解し、説明する力  
コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し、地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。  
DP3  
コンピテンス：論理的・批判的思考力  
コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。  
DP4  
コンピテンス：問題発見・解決力  
コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。  
DP5  
コンピテンス：挑戦力  
コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

CP1

歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

CP2

国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し、基礎・臨床・社会医学の知識を基に、国際社会で活躍できる基本的能力を育成する。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP8

各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

### ◆準備学習(予習・復習)

事前に歯科医師国家試験出題基準を読み、必修および一般問題の出題基準を理解するとともに、歯科医師国家試験問題集を必ず学修しておくこと。

### ◆準備学習時間

授業時間以上を充てて予習と復習を行うこと。

### ◆全学年を通しての関連教科

歯科基礎医学、歯科臨床医学、社会歯科医学および臨床実地科目。

### ◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
		4.1	1 ~ 2	統合試験VI a①	歯科医師国家試験の必修・一般問題の出題基準を理解する。 歯科学統合演習Vで学修した知識の深度を確認する。	黒川 弘康	
1		4.2	1	解剖学I国家試験必修・一般問題	解剖学I領域の基礎的知識を学修する。	高橋 富久	
2		4.3	1	解剖学I国家試験必修・一般問題	解剖学I領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	高橋 富久	
3		4.4	1	解剖学II国家試験必修・一般問題	解剖学II領域の基礎的知識を学修する。	山崎 洋介	
4		4.5	1	解剖学II国家試験必修・一般問題	解剖学II領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	山崎 洋介	
5		4.8	1	生理学国家試験必修・一般問題	生理学領域の基礎的知識を学修する。	近藤 真啓	
6		4.9	1	生理学国家試験必修・一般問題	生理学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	近藤 真啓	
7		4.10	1	生化学国家試験必修・一般問題	生化学領域の基礎的知識を学修する。	津田 啓方	
8		4.11	1	生化学国家試験必修・一般問題	生化学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	津田 啓方	
9		4.12	1	薬理学国家試験必修・一般問題	薬理学領域の基礎的知識を学修する。	藤田 智史	
10		4.15	1	薬理学国家試験必修・一般問題	薬理学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	藤田 智史	
11		4.16	1	細菌学国家試験必修・一般問題	細菌学領域の基礎的知識を学修する。	神尾 宜昌	

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
12		4.17	1	細菌学国家試験必修・一般問題	細菌学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	神尾 宜昌	
13		4.18	1	病理学国家試験必修・一般問題	病理学領域の基礎的知識を学修する。	浅野 正岳 尾曲 大輔	
14		4.23	1	病理学国家試験必修・一般問題	病理学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	浅野 正岳 尾曲 大輔	
15		4.24	1	歯科麻酔学国家試験必修・一般問題	歯科麻酔学領域の基礎的知識を学修する。	関野 麗子	
16		4.25	1	歯科麻酔学国家試験必修・一般問題	歯科麻酔学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	関野 麗子	
		5.7	1 ~ 2	統合試験VI a②	解剖 I, 解剖 II, 生理学, 薬理学, 生化学, 細菌学で学修した内容の試験を受けることで、必修・一般問題に必要な知識を整理する。	黒川 弘康 高橋 富久 山崎 洋介 近藤 真啓 神尾 宜昌 藤田 智史	
17		5.7	6	歯科放射線学国家試験必修・一般問題	歯科放射線学領域の基礎的知識を学修する。	松本 邦史 雨宮 俊彦	
18		5.8	1	歯科放射線学国家試験必修・一般問題	歯科放射線学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	松本 邦史 雨宮 俊彦	
19		5.10	1	口腔外科学国家試験必修・一般問題	口腔外科学領域の基礎的知識を学修する。	篠塚 啓二 白土 博司	
20		5.11	1	口腔外科学国家試験必修・一般問題	口腔外科学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	篠塚 啓二 白土 博司	
21		5.13	1	口腔診断学国家試験必修・一般問題	口腔診断学領域の基礎的知識を学修する。	岡田 明子	
22		5.14	1	口腔診断学国家試験必修・一般問題	口腔診断学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	岡田 明子	
		5.20	1 ~ 2	統合試験VI a③	病理学, 歯科麻酔学, 歯科放射線学, 口腔外科学, 口腔診断学で学修した内容の試験を受けることで、必修・一般問題に必要な知識を整理する。	黒川 弘康 浅野 正岳 尾曲 大輔 関野 麗子 松本 邦史 雨宮 俊彦 篠塚 啓二 白土 博司 岡田 明子	
23		5.24	1	小児歯科学国家試験必修・一般問題	小児歯科学領域の基礎的知識を学修する。	武井 浩樹	
24		5.25	1	小児歯科学国家試験必修・一般問題	小児歯科学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	武井 浩樹	

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
25		5.29	1	法医学国家試験必修・一般問題	法医学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	堤 博文	
26		5.31	1	医療人間科学分野国家試験必修・一般問題	医療人間科学分野領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	上原 任	
27		6.1	1	衛生学国家試験必修・一般問題	衛生学領域の基礎的知識を学修する。	中井 久美子	
28		6.3	1	衛生学国家試験必修・一般問題	衛生学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	中井 久美子	
29		6.4	1	歯科矯正学国家試験必修・一般問題	歯科矯正学領域の基礎的知識を学修する。	稲葉 瑞樹 鈴木 里奈	
30		6.5	1	歯科矯正学国家試験必修・一般問題	歯科矯正学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	稲葉 瑞樹 鈴木 里奈	
31		6.7	1	歯科理工学国家試験必修・一般問題	歯科理工学領域の基礎的知識を学修する。	米山 隆之	
32		6.8	1	歯科理工学国家試験必修・一般問題	歯科理工学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	米山 隆之	
		6.10	1 ~ 2	統合試験VI a④	小児歯科学、法医学、医療人間科学分野、衛生学、歯科矯正学で学修した内容の試験を受けることで、必修・一般問題に必要な知識を整理する。	黒川 弘康 武井 浩樹 堤 博文 上原 任 中井 久美子 稲葉 瑞樹 鈴木 里奈	
33		6.14	1	クラウンブリッジ学国家試験必修・一般問題	クラウンブリッジ学領域の基礎的知識を学修する。	小峰 太	
34		6.15	1	クラウンブリッジ学国家試験必修・一般問題	クラウンブリッジ学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	小峰 太	
35		6.21	1	部分床義歯学国家試験必修・一般問題	部分床義歯学領域の基礎的知識を学修する。	大山 哲生	
36		6.22	1	部分床義歯学国家試験必修・一般問題	部分床義歯学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	大山 哲生	
37		6.24	1	全部床義歯学国家試験必修・一般問題	全部床義歯学領域の基礎的知識を学修する。	伊藤 智加 浦田 健太郎	
38		6.25	1	全部床義歯学国家試験必修・一般問題	全部床義歯学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	伊藤 智加 浦田 健太郎	

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
39		6.28	1	歯周病学国家試験必修・一般問題	歯周病学領域の基礎的知識を学修する。	蓮池 聡	
40		6.29	1	歯周病学国家試験必修・一般問題	歯周病学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	蓮池 聡	
41		7.1	1	歯内療法学国家試験必修・一般問題	歯内療法学領域の基礎的知識を学修する。	羽鳥 啓介	
42		7.2	1	歯内療法学国家試験必修・一般問題	歯内療法学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	羽鳥 啓介	
43		7.2	4	摂食機能療法学国家試験必修・一般問題	摂食機能療法学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	佐藤 光保	
44		7.3	1	保存修復学国家試験必修・一般問題	保存修復学領域の基礎的知識を学修する。	黒川 弘康	
45		7.4	1	保存修復学国家試験必修・一般問題	保存修復学領域の演習を行い、解説を受けることで基礎的知識を修得する。	黒川 弘康	
		7.8	1 ~ 2	統合試験VI a⑤	歯科理工学, クラウンブリッジ学, 部分床義歯学, 全部床義歯学, 歯周病学, 歯内療法学, 摂食機能療法学, 保存修復学で学修した内容の試験を受けることで, 必修・一般問題に必要な知識を整理する。	黒川 弘康 小峰 太 大山 哲生 伊藤 智加 浦田 健太郎 蓮池 聡 羽鳥 啓介 佐藤 光保 米山 隆之	

閉じる

↑ Topに戻る